株主の皆様へ

過去最高益を更新し利益目標を達成

代表取締役社長 澁谷 年史

株主の皆様には、平素より格別のご高配やご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。また、この度の「熊本・大分地震」により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

昨今の通信業界は劇的な転換期を迎えており、事業環境もまた急激に変化しております。

当社グループの主要事業分野である携帯電話等販売市場におきましても、キャリアショップにおける取扱い商材・サービスの多様化や関連商材市場の更なる拡大、MVNO（仮想移動体通信事業者）や格安SIMの本格化等に加え、総務省主導による通信政策見直しや法改正が進められております。

このような環境下、2016年3月期において当社グループは、約470万台の携帯電話等を販売いたしました。常に「お客様の目線」に立って最適な商材やサービスをご提案し、お客様の豊かなスマートライフ実現をサポートすることで、タブレットや関連商材の販売を伸長させました。更に、決済サービス事業の好調等もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも過去最高益を更新し、期初に掲げた利益目標を達成することができました。

株主様への還元につきましては、2016年3月期の当期純利益が期初予想を上回ったことから、期末配当を期初予想から1株当たり2円増配。この結果、年間配当金は1株当たり43円と、2015年3月期比5円50銭の増配となります。また、2017年3月期におきましては、2016年3月期から9円増の1株当たり52円と、3期連続の増配を予定しております。加えて、日頃のご支援に感謝の意を表し、2016年3月末の株主様を対象に、株主優待制度を導入いたしました。詳細は次ページにも記載しておりますが、当社運営のスマートフォン向けアクセサリーショップ「Smart Labo」でご利用いただけるギフトカード3,000円分を贈呈いたします。時節柄当カードは、日本赤十字社への寄付にも充当可能とさせていただきましたので、ご活用いただければ幸いです。

前述のとおり事業環境の激変期だからこそ、変化をいち早く先取りし、スピーディかつ的確に対応することが重要です。従って、将来のための戦略的な投資を実施し、変化をチャンスに繋げることがより一層必要であると考え、2017年3月期は各事業セグメントにおいて、積極的な戦略投資を加速・推進してまいります。モバイル事業では「お客様に選ばれる魅力的なショップ作り」を目指し、キャリアショップの店舗拡充を図るとともに、販売スタッフを始めとして当社の根幹をなす人財投資も強化いたします。アクセサリーショップにつきましても、新規出店を加速させる一方で、既存店舗の強化を推進いたします。ソリューション事業と決済サービス事業他におきましても、新たなコアビジネスを構築するべく、将来の成長に向けた人財やシステムへの投資、海外でのギフトカード事業拡大の検討など戦略的投資を積極的に展開する中で、通期計画の達成に向けて邁進する所存です。

今後も、収益源の強化・多様化並びに業務効率性・生産性の更なる向上を目指し、持続的な成長の実現と企業価値・株主価値の最大化に努めてまいりますので、引き続きご支援・ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

2016年6月

配当について

業績の進展状況に応じて、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、配当性向30%以上を目途として利益還元を実施してまいります。

2016年3月期 年間配当金（1株） **43.0円**
1株当たり前期比5.5円増配

2017年3月期 年間配当金（予想 / 1株） **52.0円**
1株当たり前期比9.0円増配